

# 大村高校 SSH 交流研修 ネクストジェネレーション・ミーティング

7月31日（水）から8月2日（金）の3日間、本校1年生文理探究科全員を対象に、首都圏の高校生と地方の高校生が交流することで新たな知見を得ることを主な目的として、世界遺産 軍艦島 をテーマに、大村高校 SSH 交流研修 初次ジェネレーション・ミーティング を実施しました。このプログラムは、出水 享 氏（長崎大学工学研究科 技術専門職員 「林修のニッポンドリル「学者とめぐる世界遺産！軍艦島」等多数のメディアに出演）と共同開発しているものになります。東京から東京学芸大学附属国際中等教育学校、筑波大学附属駒場中・高等学校の生徒の皆さん10名と引率の先生2名が長崎に来県され、本校の生徒と交流しました。今年度は、昨年度のプログラムを変更し、生徒間の協議の時間を多く取り入れました。

7月31日（水）

開講行事・ウエルカムイベント

生徒間協議（事前学習をもとにした発表）

- 事前課題① 軍艦島以外で国内外の世界遺産や文化財などの地域の宝がどのように保存され、活用されているのか、または保存できずにいるのかを調べて、擬態的な例を挙げて報告してください。
- 事前課題② 本研修参加前までの段階で「軍艦島を今後どうすべきか」について、自分の考えをまとめておいてください。



8月 1日(木) 午前 **軍艦島上陸クルーズ** (今年度は、上陸できました!!)



午後 様々な立場の方による、軍艦島に関する講義

- ① 文化庁 文化資源活用課 整備部門(記念物)文化財調査官 中井将胤 氏
- ② 元島民 軍艦島を世界遺産にする会 理事長 坂本道徳 氏
- ③ 長崎市役所観光政策課長 柴田 恭郎 氏
- ④ 長崎市役所世界遺産室長 栗脇 善朗 氏
- ⑤ 長崎大学工学研究科 技術専門職員 出水 享 氏



8月 2日(水)

午前 各班、発表に向けた資料づくり



午後 各班による発表

